



第7回  
子ども市議会



平成21年7月27日  
開会

会

録

議



別府市議会議長

野口 哲男

## 子ども市議会を終えて

子ども議員の皆さん、「第7回べっぷ子ども市議会」では、各学校の子どもたちの代表として、みんなの意見を良くまとめ、勉強してきたことに大変感心しました。「別府を思う気持ち」が質問や提言を通して、強く伝わってきました。私たち議員も皆さんの思いを実現できるように頑張りたいと思います。

また、子ども市議会が成功裏に終了できましたことは、子ども議員本人はもちろん、それを支えてこられました先生方、子ども会育成会連合会の皆さま、PTA連合会の皆さま、そして保護者の皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。

私たち大人も、純真な子どもたちの視線から見た別府の問題点や希望あふれるまちづくりに心新たに取り組まなければなりません。

今後とも、子どもたちの幸せな環境づくりのため、また、子どもたち自身が理想とするまちづくりを考え、そして、行動出来るよう皆さまのなお一層のご支援をお願いいたします。



別府市長

浜田 博

## 21世紀の夢と希望を担う子ども市議会

第7回を迎えました、小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、「我がまち・別府」への鋭い考察と、明るい未来に向けての提言と宣言により、実り多き子ども市議会となりました。

広い視野で、自分たちの未来を真剣に考え、夢と希望に向かって行動していく強い意志に感動するとともに、私たちは「ONSENツーリズム」のまちづくりを一層推進することにより、笑顔あふれるこの美しいまちを、次の世代に引き継いでいかなければならないと改めて認識いたしました。

これからの21世紀を担う子どもたちによる「第7回べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方、保護者の方々、関係者の皆さまに心から感謝を申し上げます。

## 議長



鈴木 理大議員  
(浜脇中 2年)

## 副議長



溝上 聡美議員  
(東山中 2年)

## 一般質問



古田 莉奈議員  
(朝日小 6年)



幸 芹奈議員  
(別府中央小 6年)



原田 真衣議員  
(上人小 6年)



永野 優花議員  
(緑丘小 6年)



佐藤 直輝議員  
(東山小 6年)



富松 藍子議員  
(春木川小 6年)



松方 南美議員  
(亀川小 6年)



平松 巧成議員  
(鶴見小 6年)



市村 真衣議員  
(境川小 6年)



柳 嘉希議員  
(石垣小6年)



山口 昌議員  
(南立石小6年)



軸丸 旭議員  
(大平山小6年)



山口 莉奈議員  
(南小6年)



吉良 倫太郎議員  
(西小6年)



上坂 祐介議員  
(青山小6年)

## 提 言

## 子ども宣言



高橋 舞議員  
(朝日中3年)



田口 真希議員  
(鶴見台中2年)



板井 圭史郎議員  
(山の手中2年)

## 謝 辞



小畑 太哉議員  
(青山中2年)



登川 大地議員  
(中部中3年)



疋田 竣士議員  
(北部中3年)

第7回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・会期日程表	1
・子ども議員提出議案議決結果	1
・一般質問者一覧表	1
・提言者一覧表	3
・出席議員	5
・欠席議員	6
・説明のための出席者	6
・その他出席者	6
・議会事務局出席者	6
・議事日程（第1号）	7
・本日の会議に付した事件	7

[ 開 会 式 ] 目次

・開 会	9
・主催者紹介	9
・議長あいさつ	9
・閉 会	10
・子ども議長、子ども副議長紹介	10
・出席議員数の報告	10

○第1号（7月27日・月曜日）

・開 会	-----	10
・議席の指定	-----	10
・会議録署名議員の指名	-----	11
・会期の決定	-----	12
・一般質問	-----	12
	質問者・古 田 莉 奈 議員	12
	答弁者・古 庄 剛 ONSENツアーズ部長	12
	浜 田 博 市長	13
	質問者・幸 芹 奈 議員	14
	答弁者・高 橋 邦 洋 建設部長	14
	浜 田 博 市長	15
	質問者・原 田 真 衣 議員	15
	答弁者・高 橋 邦 洋 建設部長	16
	浜 田 博 市長	16
	質問者・永 野 優 花 議員	17
	答弁者・郷 司 義 明 教育長	17
	浜 田 博 市長	18
	質問者・佐 藤 直 輝 議員	19
	答弁者・高 橋 邦 洋 建設部長	19
	浜 田 博 市長	20
	質問者・富 松 藍 子 議員	20
	答弁者・郷 司 義 明 教育長	21
	浜 田 博 市長	21

質問者・富松藍子議員	-----	22
答弁者・郷司義明教育長	-----	22
質問者・松方南美議員	-----	22
答弁者・徳部正憲生活環境部長	-----	23
浜田博市長	-----	23
(休憩・再開)	-----	24
質問者・平松巧成議員	-----	24
答弁者・阿南俊晴福祉保健部長	-----	24
浜田博市長	-----	25
質問者・市村真衣議員	-----	25
答弁者・徳部正憲生活環境部長	-----	26
浜田博市長	-----	26
質問者・柳嘉希議員	-----	27
答弁者・郷司義明教育長	-----	28
浜田博市長	-----	28
質問者・山口昌議員	-----	29
答弁者・梅木武企画部長	-----	29
浜田博市長	-----	30
質問者・軸丸旭議員	-----	30
答弁者・郷司義明教育長	-----	31
浜田博市長	-----	31

	質問者・山口 莉奈	議員	-----	32
	答弁者・古庄 剛	ONSENツーリズム部長	--	33
	浜田 博	市長	-----	33
	質問者・吉良 倫太郎	議員	-----	34
	答弁者・郷司 義明	教育長	-----	35
	浜田 博	市長	-----	35
	質問者・上坂 祐介	議員	-----	36
	答弁者・古庄 剛	ONSENツーリズム部長	--	37
	浜田 博	市長	-----	37
	(休憩・再開)		-----	38
・提言の発表	提言者・高橋 舞	議員	-----	38
	答弁者・浜田 博	市長	-----	39
	提言者・田口 真希	議員	-----	39
	答弁者・浜田 博	市長	-----	40
	提言者・小畑 太哉	議員	-----	41
	答弁者・浜田 博	市長	-----	41
	提言者・登川 大地	議員	-----	42
	答弁者・浜田 博	市長	-----	43



- ・ 議員提出議案第 1 号子ども宣言について、上程----- 44
- ・ 提案理由説明-----板 井 圭史郎 議員----- 44
- ・ 表 決----- 45
- ・ 閉 会----- 45

[ 閉 会 式 ] 目 次

- ・ 開 会----- 46
- ・ 市長あいさつ-----浜 田 博 市長----- 46
- ・ 記念品の贈呈-----郷 司 義 明 教育長----- 47
- ・ 子ども議員代表者謝辞-----疋 田 竣 士 議員----- 47
- ・ 閉 会----- 48

## 第7回「べっぷ子ども市議会」会議録

---

○会 期 平成21年7月27日(1日)

---

○会期日程表

平成21年7月27日(月) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

---

○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

平成21年7月27日 原案可決

---

○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	9番議員 朝日小学校 古 田 莉 奈	外国人との交流に対する別府市の取組み
2	15番議員 別府中央小学校 幸 芹 奈	校区に大きな遊具の公園がほしい
3	8番議員 上人小学校 原 田 真 衣	子どもやお年寄りにとって安全な道路整備
4	12番議員 緑丘小学校 永 野 優 花	別府市立図書館の充実

5	14番議員 東山小学校 佐藤直輝	東山地区の道路整備
6	11番議員 春木川小学校 富松藍子	40人学級の良さと不便さ
7	7番議員 亀川小学校 松方南美	ゴミ袋回収場所の整備
8	6番議員 鶴見小学校 平松巧成	生活に困っている人や障がいのある人への医療補助
9	1番議員 境川小学校 市村真衣	地球温暖化に対する別府市の取組み
10	10番議員 石垣小学校 柳嘉希	学校のトイレ設備改善のための計画
11	5番議員 南立石小学校 山口昌	信号をつけてほしい
12	13番議員 大平山小学校 軸丸旭	自分が中国から来た時に不便に感じたこと
13	2番議員 南小学校 山口莉奈	地獄めぐりのアピール

14	3番議員 西小学校 吉 良 倫太郎	別府アリーナのさらなる経済効果について
15	4番議員 青山小学校 上 坂 祐 介	温泉祭りで観光客に喜んでもらえる工夫

○提言者一覧表

提言 順位	提 言 議 員	提 言 内 容
1	18番議員 朝日中学校 高 橋 舞	ペットボトルキャップ、ハガキ、テレ フォンカード等の回収
2	19番議員 鶴見台中学校 田 口 真 希	思いやり、助け合いで心がつながる 地域づくり
3	16番議員 青山中学校 小 畑 太 哉	活動をした人にチケットを渡して利用 できるように
4	17番議員 中部中学校 登 川 大 地	商店街の客足や観光客の減少について



## 第7回「べっぷ子ども市議会」会議録（第1号）

平成21年7月27日

○出席議員（23名）

1番議員	境川小学校	市村真衣さん
2番議員	南小学校	山口莉奈さん
3番議員	西小学校	吉良倫太郎君
4番議員	青山小学校	上坂祐介君
5番議員	南立石小学校	山口昌君
6番議員	鶴見小学校	平松巧成君
7番議員	亀川小学校	松方南美さん
8番議員	上人小学校	原田真衣さん
9番議員	朝日小学校	古田莉奈さん
10番議員	石垣小学校	柳嘉希さん
11番議員	春木川小学校	富松藍子さん
12番議員	緑丘小学校	永野優花さん
13番議員	大平山小学校	軸丸旭君
14番議員	東山小学校	佐藤直輝君
15番議員	別府中央小学校	幸芹奈さん
16番議員	青山中学校	小畑太哉君
17番議員	中部中学校	登川大地君
18番議員	朝日中学校	高橋舞さん
19番議員	鶴見台中学校	田口真希さん
20番議員	山の手中学校	板井圭史郎君
21番議員	北部中学校	疋田竣士君
22番議員	東山中学校	溝上聡美さん
23番議員	浜脇中学校	鈴木理大君

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市 長	浜 田 博 君	副 市 長	友 永 哲 男 君
教 育 長	郷 司 義 明 君	水 道 局 長	亀 山 勇 君
総 務 部 長	中 尾 薫 君	企 画 部 長	梅 木 武 君
ONSENツアーズ部長	古 庄 剛 君	建 設 部 長	高 橋 邦 洋 君
生活環境部長	徳 部 正 憲 君	福 祉 保 健 部 長	阿 南 俊 晴 君
消 防 長	首 藤 忠 良 君	会 計 管 理 者	三ヶ尻 栄 志 君
学校教育課長	寺 岡 悌 二 君		

○主催者等出席者

別 府 市 議 会 議 長	野 口 哲 男 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 会 長	首 藤 正 君
別 府 市 子 ども 会 育 成 会 連 合 会 会 長	池 辺 栄 治 君
別 府 市 P T A 連 合 会 会 長	後 藤 智 君
別 府 市 議 会 副 議 長	国 実 久 夫 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 副 会 長	永 井 正 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 事 務 局 長	猿 渡 久 子 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 事 務 局 理 事	市 原 隆 生 君

○議会事務局出席者

局	長	吉	本	博	行	参	事	大	野	光	章	
次	長	浜	崎	憲	幸	次	長	花	田	伸	一	
主	査	石	崎		聡	主	任	樋	田	英	彦	
主	任	溝	部	進	一	主	任	中	村	賢	一	郎
主	任	南		英	子							

○議事日程（第1号）

平成21年7月27日（月曜日） 午前9時10分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提 言

第6 子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）





○市議会事務局長（吉本博行君） おはようございます。

開会式に先立ちまして、子ども議員皆さんの記録用写真を撮影しますので、子ども議員の皆さま方は、議長席の方を見てください。

傍聴席の皆さま並びに主催者の皆さま方は、恐れ入りますが、今、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[ 写 真 撮 影 ]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただ今から、第7回「べっぷ子ども市議会」開会式をとり行います。はじめに、主催者並びに関係者の皆さまをご紹介させていただきます。

浜田 博 別府市長です。

野口哲男 別府市議会議長です。

首藤 正 別府市議会子ども会を支える議員連盟会長です。

池辺栄治 別府市子ども会育成会連合会会長です。

後藤 智 別府市PTA連合会会長です。

国実久夫 別府市議会副議長です。

別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長の永井 正議員です。

同じく事務局長の猿渡久子議員です。

同じく事務局理事の市原隆生議員です。

以上を代表しまして、野口哲男 別府市議会議長より皆さんにご挨拶いたします。

○市議会議長（野口哲男君） 皆さんおはようございます。

本日の第7回べっぷ子ども市議会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆さんを今、入場の時から見てますと、少し緊張しているようですね。だけど、引率の先生の方も緊張しているように見受けられました。皆さん、先日のリハーサルでは大変よくできたというふうにお伺いしています。今、心の中ではいろんなことを思っていると思いますけど、自信を持って臨んでいただきたいと思います。執行部席におられる浜田市長、教育長、部長さんもかなり緊張の面持ちですが、子ども議員皆さん方の質問や提言に真剣に答えてくれると思います。ぜひ、本日の子ども市議会を貴重な経験として、今後の学校生活や地域活動に生かしていただければと思っています。

終わりにになりましたが、本日の子ども市議会の開催にあたり、大変ご尽力いただきました先生方、PTA並びに市子連の皆さま方、そして傍聴席においでのご家族の方々に対しまして、心から感謝申し上げます、あいさついたします。ありがとうございました。

○市議会事務局長（吉本博行君） それでは、以上をもちまして、開会式を終了いたします。

続きまして、子ども市議会の議長及び副議長の選出ですが、あらかじめ決定されておりますので、ご紹介させていただきます。

議長は、浜脇中学校 鈴木理大君です。

鈴木君は、議長席までお越しく下さい。

続きまして、副議長は東山中学校 溝上聡美さんです。

溝上さんは副議長席までお越しく下さい。

それでは、議長と副議長が席に着かれましたので、事務局より、出席議員数の報告を願います。

○市議会事務局（南 英子さん） 人員のご報告を申し上げます。議員定数23名、現在員23名であります。

---

午前9時10分 開会

○議長（鈴木理大君） おはようございます。

ただいま、ご紹介をいただきました、議長の浜脇中学校 鈴木理大と副議長の東山中学校 溝上聡美さんです。

私たちのまち別府が希望に満ちた、住みよいまちになるように、今日子ども市議会をがんばりたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これより第7回べっぷ子ども市議会を開会いたします。

開会にあたり、市長さんをはじめ多くの皆さんの出席をいただきました。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げていただきます。

○市議会事務局（南 英子さん） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、呼ばれた方は「はい」と返事をし、その場でご起立を願います。

1番議員	境川小学校	市村真衣さん
2番議員	南小学校	山口莉奈さん
3番議員	西小学校	吉良倫太郎君
4番議員	青山小学校	上坂祐介君
5番議員	南立石小学校	山口昌君
6番議員	鶴見小学校	平松巧成君
7番議員	亀川小学校	松方南美さん
8番議員	上人小学校	原田真衣さん
9番議員	朝日小学校	古田莉奈さん
10番議員	石垣小学校	柳嘉希さん
11番議員	春木川小学校	富松藍子さん
12番議員	緑丘小学校	永野優花さん
13番議員	大平山小学校	軸丸旭君
14番議員	東山小学校	佐藤直輝君
15番議員	別府中央小学校	幸芹奈さん
16番議員	青山中学校	小畑太哉君
17番議員	中部中学校	登川大地君
18番議員	朝日中学校	高橋舞さん
19番議員	鶴見台中学校	田口真希さん
20番議員	山の手中学校	板井圭史郎君
21番議員	北部中学校	疋田竣士君
22番議員	東山中学校	溝上聡美さん
23番議員	浜脇中学校	鈴木理大君

○議長（鈴木理大君） ただいま、職員の方に読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、

3番 吉 良 倫太郎 君

8番 原 田 真 衣 さん

以上、2名の方をお願いいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。子ども市議会の会期は本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（鈴木理大君） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により、一般質問を行います。一般質問者は15名です。質問の順番により質問をお願いいたします。

最初に、9番議員、朝日小学校の古田莉奈さんの一般質問をお願いいたします。

[9番議員 古田莉奈さん、登壇]

○9番議員（古田莉奈さん） 私のまわりにはたくさんの外国の人がいます。私が釣りに出かけた時、外国の人と話したことがあります。その人たちはAPUに通っていて遠くの国から別府に来た人でした。肌の色や話し方が私たちとは違っていましたがとても優しい人でした。私が会った外国の人はとても明るい人だと思います。それに私の友達日本人ではありませんが、とても優しく友達のことを一番に考えてくれます。私は外国の人たちの良い所を知ることでもっと仲良くなれると思います。

私たち朝日小学校児童会スローガンは「みんなでつながる明るい学校」です。私たちはこのスローガンのもと、他の委員会と協力して全校のみんなとつながる行事を行っています。「朝小タウン」や「ダンス大会」などがあります。私たちは、こんな行事を通して全校のみんなでつながり明るい学校を目指しています。

別府市でも、もっと外国の人の良い所をたくさんの人に知ってもらえるような活動を企画して外国の人たちとつながる機会を作ってほしいと思います。

別府市では外国の人とつながる機会をどのように作っているのか教えてください。

○議長（鈴木理大君） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（古庄 剛君） お答えいたします。

別府市では、市民と外国人留学生などとの交流につきまして、いろいろな行事や取組を行っていますので、そのうちのいくつかについてご紹介します。

まず、アジアを中心としたいろいろな国の留学生のお兄さんやお姉さんが市内の小・中学校に行って自分の国の言葉、遊び、歌等の文化を教えてくれる「国際理解教室」があります。また、市内に住む外国の方に、日本に昔からある料理や、お家でよく作るおかずの作り方を教える「LUNCH WITH US?」、これは「私たちと一緒に食事をしませんか?」という意味ですが、このような料理教室を行っています。さらに外国の人や留学生が、自分の国の家庭料理を教えてくれる「地域交流料理クラブ」や「国際交流教室」、留学生に日本での生活文化などの決まりや伝統などを教える「日本語楽々トーク」などを行っています。

その他にも、外国人留学生の皆さんには色々なイベント、お祭りなどに参加していただき、市民と外国の人との交流を広げています。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 古田莉奈議員のご質問にお答えします。

市民と外国人留学生の皆さんとの交流、別府市ではそういう事業をたくさん行っています。古田議員が外国人留学生にお会いするという話を聞きました。その中で古田議員が、ごく身近に体験できるということに「国際理解教室」があります。この事業に参加するには、古田議員がぜひ外国人留学生と交流したいと先生に申し出てください。市役所には文化国際課があり、先生からの連絡を紹介しまして、古田議員の学校、朝日小学校で授業をしていただくということが実現するわけです。こうした多くの留学生が学んで生活をしている別府市のような環境というのは全国でも珍しいし、ほとんどないと思います。本当に恵まれていると思いますから、ぜひこういう機会を大いに生かしていただきたいと思っています。

別府市は、留学生が将来別府に住みたいと思ってもらえるようなまちづくりを進めています。留学生の皆さんが卒業していく時に、「別府が大好きになった」、「別府に住みたい」と、また外国に帰っていく皆さんが日本に来るときは、「別府に1番に来るよ」とこう言ってくださるんです。本当に嬉しいことです。ぜひこういう外国人留学生と市民の皆さんが仲良くできる、もう一度別府を訪れたいと思えるようなまちづくりを一生懸命進めていきたいと思っています。外国人の皆さんと仲良くしたいという気持ちを大切にしてください。今日は、貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（古田莉奈さん） 9番。

○9番議員（古田莉奈さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、15番議員、別府中央小学校の幸 芹奈さんの一般質問をお願いいたします。

[15番議員 幸 芹奈さん、登壇]

○15番議員（幸 芹奈さん） 私は別府中央小学校の校区にアスレチックや遊具のある公園をつくってほしいと思っています。

私はよく家族で、鉄輪にある地獄地帯公園に行きます。そこにはたくさんの遊具があり楽しく遊べます。他の学校の人も来ていて仲良くなったこともあります。でも遠いので、車に乗せていってもらわないと行くことができません。

私たちの校区の近くにはこのように遊具のある大きな公園がないのです。運動場は広いのですが、遊具が少なく、国道10号線を越えて行くので放課後や休みの日は、あまり遊んでいる人はいません。私たちは町の中の小さな公園か友だちの家で遊んでいます。

遊具のある大きな公園ができれば、子どもたちはもっと外で遊ぶようになり、違う学校の人たちとも出会い、交流も深まり、もっとよい別府市ができると思います。

そこで質問です。これから大きな遊具のある公園をつくる計画はあるのでしょうか。今後の可能性についてもお聞かせ下さい。

○議長（鈴木理大君） 建設部長。

○建設部長（高橋邦洋君） お答えいたします。

別府中央小学校区には現在、的ヶ浜公園の他に4か所の公園があります。そのうち、遊具のある公園は、海門寺公園、餅ヶ浜公園、南的ヶ浜チビッコ広場の3か所ですが、幸議員が言われるように、鉄輪地獄地帯公園のような大きな遊具のある公園はありません。また、どの公園もあまり広くないので、これから大きな遊具を設置することは難しい状況です。

現在のところ、別府中央小学校区の公園に大型の遊具をつくる計画はありませんが、校区の近くには広い芝生広場のある別府公園があります。

鉄輪地獄地帯公園は別府中央小学校区からは少し遠いですが、今後も保護者の

方と一緒に利用していただき、また、お友達も誘って、思いっきり遊んでいただきたいと思います。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 幸 芹奈議員のご質問にお答えします。

幸議員が住んでいる別府中央小学校区には、残念ながら鉄輪地獄地帯公園のような遊具のある大きな公園はありません。しかし、今年の3月に北浜公園が本当にきれいになりました。さらに、北浜公園と的ヶ浜公園の間を緑地化する計画があります。そうしますと、海岸線が緑地になって、散歩したい道、行ってみたいくなるような広場ができると思います。数年後には出来上がりますから、ぜひ期待をしていただきたいと、このように思っております。

大きな公園ができれば、子どもたちはもっと外で遊ぶようになり、違う学校の子どもたちと友達になって、交流も深まるんじゃないかな、もっと良い別府市ができるのではないかなという話を聞き、幸議員は人との出会いというものを本当に大切にしているなあという思いが伝わりました。まさに観光客をおもてなしする、多くのお友達がたくさん交流できる、別府市が今、進めているONSENツーリズムのまちづくりの精神に通じるものがあると思っています。いつまでも、その優しい気持ちをぜひ持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 15番。

○15番議員（幸 芹奈さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、8番議員、上人小学校の原田真衣さんの一般質問をお願いいたします。

[8番議員 原田真衣さん、登壇]

○8番議員（原田真衣さん） まちづくりについて質問します。

私は上人校区の上平田・大観山地区に住んでいて、小学1年生から6年生6名で登校しています。

通学路のあじさい通りは、交通量が多くゆるやかなカーブの所では、車が白線を越えて走ってきてとても危険です。1つ道路を渡れば安全な歩道がありますが、信号機などがなく猛スピードで走ってくる車があるのでとても渡れません。高齢者が



たくさん住んでいるのですが「私たちも渡るのがすごく怖い」と話していました。

私が気づいたことですが、昨年度も一昨年度も道路の工事をしていましたが歩行者にとっては何も変わりありませんでした。反対に工事のたびに私たちが渡れずごく不便でした。

工事が終わると確かに道路はきれいになりましたが、私たち歩行者の安全対策は手つかずのままのように感じました。

上平田地区の高齢者や子どもたちの安全のための道路整備について、どんな計画があるのか教えてください。

○議長（鈴木理大君） 建設部長。

○建設部長（高橋邦洋君） お答えします。

原田議員の言われる市道は、上人小学校の北西側で、旧国道から上平田町を南西に横切り、大学通り交差点までの区間と思われます。

この道路は、平田保育所側のところに一部歩道があるだけで、登下校する児童や高齢者などの交通弱者にとって危険な道路であることは、以前から把握しています。

この道路は、別府市の都市計画事業で、将来道幅を広くする予定の道路となっています。現在、原田議員の言われる市道を含め、将来、道幅を広くする予定の道路について、本当に広くすることが必要であるか、いつごろ広くするのか、どれだけ広くすればよいのかなどについて、見直しをしているところです。

これから、原田議員の希望も取入れながら見直しの作業を行いまして、安全・安心の道づくりを目指していきたいと思います。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 原田真衣議員のご質問にお答えします。

「安全のための道路整備」との質問内容でしたが、原田議員のお年寄りや子どもたちのことを本当に心配する優しい気持ちに感銘を受けました。

原田議員のご質問のとおり、歩行者にとって危険な道路の問題は、市民の皆さんが毎日感じる最も身近な問題だと認識をしています。

高齢化社会を迎える中で、高齢者、それから障がい者の方々、子どもの皆さんが安心して歩ける道路の整備というのは、別府市の重要な課題でありますし、私が市民の皆さんとお約束をしている「安全、安心のまちづくり」を目指すことでもある

と思っております。

これからも、ぜひお年寄りや子供たちのことを思う気持ち、これを大切にしてい  
ただきたいなと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 8番。

○8番議員（原田真衣さん） ありがとうございます。これでわたしの質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、12番議員、緑丘小学校の永野優花さんの一般質問をお願いいたします。

[12番議員 永野優花さん、登壇]

○12番議員（永野優花さん） 私たちの学校では朝読書をしています。「読書は心の宝物」と学校で教えてもらいました。私も本が大好きで、学校の図書室はお気に入りの場所のひとつです。

私は、ときどき市立図書館も利用しています。市立図書館には、学校に無いような勉強の本などがたくさんあって、調べ学習をする時にとっても役に立ちました。また、勉強するスペースもあるので大変便利でした。

しかし、夏休みの自由研究の参考になるような本が少なかったり、子ども用の本もあまり多くはありませんでした。また、勉強するスペースもあまり広くなくて、おいているイスも小さかったので、少し勉強しにくかったです。

そこで質問します。これから先、市の図書館がもっとよくなるためには、例えば子ども向けの本の数を増やすとか、学習スペースを広げたり、イスを大きくするなどの予定はありますか。教えてください。

○議長（鈴木理大君） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えします。

今、全国の小学校、中学校、高等学校、2万6千以上の学校があるわけですが、その多くが「朝読書」をしています。別府市の小学校、中学校でも同じように「朝読書」をしています。

とりわけ、永野議員の緑丘小学校も朝読書を続けているということで本当に素晴らしいと思います。

また、永野議員は、よく市立図書館を利用しているようで、本当にありがとうございます。

それでは、質問にお答えします。質問の1点目の「子ども向けの本を増やしてほしい」ということです。子ども向けの本はたしかに多くありませんので、これから計画的に本をもっともっと増やすようにしていきたいと思っています。

また、「調べ学習や勉強のための学習スペースの改善」についても、現在、新しい図書館づくりの計画を進めているところです。その中で十分検討していきたいと思っています。これからつくる図書館は多くの人が喜んで使えるように、そしてもっともっと素晴らしい図書館になるようにしていきたいと思っていますので、新しい図書館ができましたら、永野議員もぜひ図書館で勉強していただきたいと思ひます。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 永野優花議員の質問にお答えします。

永野議員が、本が大好きで熱心に読書をしているというようすが十分に伝わってきました。

「読書は心の宝物」とこのように言われてましたが、私も本当にそう思います。

また「読書はもう一つの学校だ」というふうにも言われてますし、「読書は学ぶ力を伸ばす、希望の一步である」という言葉もあります。

このように本は「心の友だち」と、私は思っております。

私も本が大好きで、小学校の頃に図書館、または友達から借りて読んだ本は今でも私の心の中に、読んだ本の思い出がはっきりと残っている私の大切な宝物だと思っています。

別府市では、現在、皆さんに本当に喜んでもらえるような新しい図書館の建設を計画しています。

永野議員がちょうど高校生くらいになるのかな、その頃には出来上がると思いますから、ぜひ新しい図書館の完成を楽しみにしていただき、また楽しい多くの本を読んでいただくように、勉強にもしっかり頑張りたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 12番。

○12番議員（永野優花さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、14番議員、東山小学校の佐藤直輝君の一般質問をお願いいたします。

[14番議員 佐藤直輝君、登壇]

○14番議員（佐藤直輝君） 東山の道路整備について質問します。

僕たちは、通学にスクールバスを使って登下校しています。

そのスクールバスが通る枝郷地区から椿地区までの道路がとても狭くて、危険で、雨が降ると石が転がっていたりします。

冬には、雪が降り道路が凍っていて、とても滑りやすくなっています。

また、ほかの道路が広くなったため、車の通る量が増えてきて、すれ違うのも大変になってきました。

そこで質問です。枝郷地区から椿地区までの道路を整備する予定はありますか。無ければ登下校の安全を守るためにも、取組んでほしいのですが、お願いできますか。お年寄りの方のためにも、地区の道路整備をよろしくお願いします。

○議長（鈴木理大君） 建設部長。

○建設部長（高橋邦洋君） お答えします。

佐藤議員ご質問の道路は、枝郷公民館前から東山の県道、別府庄内線に通じる市道だと思われます。この道路は朝見枝郷合えだごうあわせだなうしろぼた棚後畑線とって、リンゴ園からたなぼやし えだごう棚林、枝郷を通り東山2区の合あわせだな棚に通じる道路です。

佐藤議員の言われるように、この道路は確かに見通しが悪く、道幅も狭くて車の離合もしにくい危険な現状であることは、市でも十分把握しています。

そこで2年前、現地の道路に行って、地元の枝郷自治会の皆さんと、部分的な改修を前提とした話し合いをしました。その際、道の幅を広くしたり、見通しの悪い危険なところを改修するなど、8カ所について要望を受け、昨年から計画を立てて、予算の範囲内で改修を進めているところです。昨年は2カ所の改修が終わり、今年度も引き続き、改修工事を行う予定となっています。

今後とも、佐藤議員の東山と枝郷地区の道路整備に対するお気持ちに沿うよう努力していきたいと思っています。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 佐藤直輝議員の質問にお答えいたします。

「登下校の安全を守るためと、お年寄りの方のためにも、地区の道路整備をお願いしたい」と、こういう質問だと思います。佐藤議員の東山・枝郷地区を思う気持ち、地元の皆さんのことを心から愛するそういう気持ちを感じられました。

私も、佐藤議員が言われるように、この道は本当に狭くてですね、以前から危険な道路だなと感じていました。

東山・枝郷地区の自治委員さんからも強い要望もいただきました。先ほど部長がお答えしたように、昨年から少しずつですが計画的に工事を始めています。時間がかかるかと思いますが、もう少し辛抱してください。また、東山地区、スクールバスで登下校をしている佐藤議員、さらにはお友達の皆さん、道路を利用する皆さんたちの安全を守るために、計画的に少しずつですが、確実に、道路整備を続けていきたいと思っています。

これからも地元を思うこの優しい気持ちをぜひ持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 14番。

○14番議員（佐藤直輝君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、11番議員、春木川小学校の富松藍子さんの一般質問をお願いいたします。

[11番議員 富松藍子さん、登壇]

○11番議員（富松藍子さん） 私は教育について質問をします。

私たち、春木川小6年生は1クラス40人です。入学した時から1クラスでクラス替えもなく、教室は机とイスでぎっしりの状態です。

でも、良さはたくさんあります。その中の1つは、40人分の様々な意見や考えを聞き、学習できることです。また、40人一緒に行動するので、強い心の結びつきが生まれ、5年時のおじか合宿では、マイムマイムを踊り、存分に楽しむことができました。

一方、困る点としては、昨年ロッカーが39人分しかなく、1人は隣の集会室のロッカーを使っていました。人数が多いため、後ろの席の方は固定した黒板の字が見えにくいのです。また、机とイスが大きいので通路が狭くなり、身動きがとりにくい

のも困っています。

地域の方々や家族は、いつも私たちを温かく見守ってくれています。私は春木川小が大好きです。もっと多くの人を通い、今以上に楽しい学校になればいいなと思っています。

別府市としては、こんな私たちのため、どのような考えを持っているか聞かせてください。

○議長（鈴木理大君） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えします。

富松議員のお話から、40人学級の良いところと困っているところが大変よく分かりました。特に、富松議員が今、質問の中でお話がありましたように去年は40人分のロッカーがなく、大変ご迷惑をおかけしました。申し訳なく思っております。今後は皆さんが困っていることについては、早く先生と相談して教育委員会の方に知らせていただきたいと思います。これからも富松議員は40人のクラスメイトと力を合わせて、思い出の多い学校生活を送るわけですが、40人の皆さんが本当に素晴らしい学校生活を送るには、まだまだ困る点がたくさんあるんじゃないかと思っておりますので、学校と相談をしてお話していただければ、できるところから進めていきたいと思っています。6年生の最後の残りの期間、皆さんと力を合わせてしっかりと頑張りたいと思っています。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 富松藍子議員のご質問にお答えします。

今、富松議員が、40人という人数が多いために、ロッカーが足りなかったり、また後ろの席で黒板が見えにくかったり、さらに通路が狭い等の困る点があるというお話を聞きました。そんな中で、40人のクラスメイトの様々な意見を聞くことができるといういい点、強い心の結びつきができたりする1クラス40人であるということの素晴らしさ、この良さをしっかりととらえて、それを学校生活の中で生かそうとすることを大変頼もしく感じました。

また、春木川小学校に誇りを持っているということ、地域の人々や家族に対する感謝の気持ちを忘れない富松議員のその考え方は、本当に素晴らしいと思っています。

別府市では、富松議員が困っていることを解消するために、今、できるだけ30人学級にするということも数年前から行っていますし、また、これから皆さんが素晴らしい環境の中で楽しく勉強ができる、学校生活が送れるようにしっかり努力していきたいと思っています。富松議員も自分たちでできるということを精一杯取組んでいただきたい、このことをお願いしたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 11番。

○11番議員（富松藍子さん） 今後、ロッカーが多くなるのを楽しみにしています。しかし、ロッカーが多くなったら、学校の生徒の人数は多くなるんですか。聞かせてください。

○教育長（郷司義明君） お答えいたします。

先ほど、市長さんが答弁をしました、なるべく人数の少ない学級にしていくということについて、今後、一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。今は、40人学級ということで大変迷惑をかけていますが、これからは迷惑をかけないよう頑張っていきたいと思っています。

○議長（鈴木理大君） 11番。

○11番議員（富松藍子さん） ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 次に、7番議員、亀川小学校の松方南美さんの一般質問をお願いいたします。

[7番議員 松方南美さん、登壇]

○7番議員（松方南美さん） 私が以前から気になっているのは、別府市内のゴミの出し方についてです。

毎日の登下校の時に、道路にゴミ袋が置かれているので、いつも車道によけて通っています。車で出かけた時に、10号線沿いにもゴミ袋があり、ゴミが道路に置かれているのは亀川だけではないと知って驚きました。

別府は、日本国内だけでなく他の国からも観光客が来ます。私は、観光客に「別府はキレイな町」というイメージを持ってもらいたいと思っています。

たしかに、お年寄りや体の不自由な人は、自分の家の前に出した方が楽かもしれません。

しかし、みんながきちんと道路ではなく回収所に出せば、観光客だけでなく、別府市民も気持ちよく暮らしていけると思います。

道路に置かれたゴミ袋を無くすために、ゴミの回収所を整備する計画はありますか。教えて下さい。

○議長（鈴木理大君） 生活環境部長。

○生活環境部長（徳部正憲君） お答えします。

松方議員が言われたように、別府市では市民の皆さんが自宅の前に出したゴミを回収しています。この回収方法を路線収集方式と言います。また、自宅の前にゴミを出せない地区の皆さんには、決められたゴミ集積場にゴミを出していただいて回収をしています。この回収方法をステーション収集方式と言います。

松方議員がご質問のゴミの回収所の整備については、回収の方法を、ステーション収集に統一することになり、市内全域で回収場所を確保しなければならないなどの問題が出てきますので、すぐに整備することは難しいと思われまます。

まちを美しくするには、市民の皆さんにゴミ出しのルールを守っていただくことが大切であると考えています。これからも、市報やケーブルテレビ等で、ゴミ出しのルールを守っていただくよう、市民の皆さんに呼びかけていきます。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 松方南美議員の質問にお答えします。

松方議員が言われたように、別府市は観光温泉文化都市です。観光客の皆さんをきれいなまちでお迎えできるようにということで、別府市の市民憲章は、「美しい町をつくりましょう」という項目があります。この美しいまちをつくるため、市では毎年6月に「全市一斉清掃」を実施し、今年も1万2千人くらい出たいただいたのかな、それから海の日の前日の7月19日に「海岸海浜清掃」を実施しました。関の江海水浴場開きの前日でした。このように市内の道路や公園、海岸などの清掃を行い、大変多くの市民の皆さんに朝早くから協力をいただいて、参加をしていただきました。

これからも美しいまちづくりに向けて、市民の皆さんのご協力をいただいて、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っていますので、松方議員にもご協力いただきますようお願いいたします。



これからもきれいな「まち」を思う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 7番。

○7番議員（松方南美さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（鈴木理大君） 休憩いたします。

午前 9時55分 休憩

午前10時05分 再開

○副議長（溝上聡美さん） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を続けます。

6番議員、鶴見小学校の平松巧成君の一般質問をお願いいたします。

[6番議員 平松巧成君、登壇]

○6番議員（平松巧成君） 福祉について質問します。

僕たちの学校では、今、エコキャップを集めています。800個で1人分のワクチンになるということで、昨年度取組んだ学年がありました。そして6月に昨年度分の6万個を青年会議所に渡しました。今年は全校みんなで取組むことになりました。たくさん集まればいいなと思っています。

そこで質問です。ポリオワクチンが開発途上国では20円だと聞いたことがあります。別府市では生活に困っている人や障がいがある人のための医療補助について、どのようなことに取組んでおられますか。また、僕たちにできることは何かありますか。教えてください。

○副議長（溝上聡美さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（阿南俊晴君） お答えします。

別府市では、国や県とも協力して、いろいろな医療費に関する補助を行っています。

具体的には、ひとり親の家庭や、障がいのある人、小学校入学前の乳幼児を対象に、それぞれの事情に応じた医療費補助を実施しています。

例えば、重い障がいをお持ちの人で、病院でひと月に千円以上支払いをした人には、医療費の払い戻しをしています。また、生活保護を受けている人の医療費は無料となっています。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 平松巧成議員の質問にお答えします。

平松議員や皆さんの、エコキャップを集めて開発途上国の子どもたちへポリオワクチンの接種を受けてもらうという取組みは、本当に素晴らしいことだと思います。

日本では無料で受けられる予防接種でも、開発途上国では、金銭的な問題で受けられない子どもたちが、まだまだ、たくさんいます。国自体が貧しいために、家や食べるものさえない子どもたちもたくさんいます。

皆さんができることは、という質問もありましたが、私は、食べ物を残さないこと、物を大切にすること、ということも皆さんが身近にできるエコ活動だと思います。

また、お年寄りや障がいのある人たちが、階段を上り下りするときや、横断歩道を渡るときに手を貸してあげることなどは、医療補助をすることと同じくらい大切なことだと思います。

これからも、周りの人を思いやる優しい気持ちを、ぜひ持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 6番。

○6番議員（平松巧成君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、1番議員、境川小学校の市村真衣さんの一般質問をお願いします。

[1番議員 市村真衣さん、登壇]

○1番議員（市村真衣さん） 今、世界規模で地球温暖化が問題になっています。石油を使うことで二酸化炭素が発生し、地球温暖化につながるということは以前から言われています。

わたしの家ではテレビのつけっぱなしを防ぐためにタイマーをかけるようにしたり、買い物には必ずエコバッグを持って行くようにしたりと、少しでもエネルギーの無駄遣いを減らす工夫をしています。6月になってからはレジ袋が有料になり、買い物に行くと、エコバッグを持っている人が増えたなあと感じます。

しかし、石油資源はあと40年ほどでなくなるとも言われており、石油以外のエネルギーの確保が必要です。石油や石炭を輸入に頼っている日本は、エネルギー自給率が19パーセントしかないとインターネットで知りました。

わたしはそれを知って、石油に代わるエネルギーとして、学校の屋上にソーラーパネルを設置し、学校で使う電力を太陽光発電で起こすことや、別府という土地の特徴を利用して地熱発電を行うなど、自然に優しいエネルギーの確保をすると良いのではないかと考えました。

そこで、質問です。別府市として地球温暖化に対してどのような取り組みをお考えですか。教えてください。

○副議長（溝上聡美さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（徳部正憲君） お答えします。

現在、別府市役所でも、地球温暖化対策のため、いろいろな取り組みをしています。例えば、車に関することとして、市役所の車を使うとき、エコドライブを心がけて燃料の消費を減らすこと。電気に関することとして、トイレや給湯室などの照明をこまめに消灯する、なるべくエレベーターを使わず階段を利用する、「クールビズやウォームビズ」により、エアコンの温度管理に気をつける、などです。市内の学校や幼稚園にはアサガオの種を配布し、窓などの日よけとして「緑のカーテン」を育ててもらい、室内の気温を下げる取り組みもしています。

また、市内のさまざまな事業所と連携を取、「マイバック運動」によるレジ袋の消費量を減らすこと、食用廃油や紙パックの回収など、廃棄物の減量につながることも取り組んでいます。

これらの取り組みも含めて、地球温暖化に対して、市民の皆さんが身近で簡単に取組めることをご紹介するため、年に4回、環境新聞「エコ湧〜く」を市の職員が手作りし、市内の全部の世帯に配るとともに、別府市のホームページにも載せています。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 市村真衣議員の質問にお答えします。

市村議員が、地球温暖化の問題について意識を持ち、おうちの方と協力して、自分たちができることに取り組んでいることを、大変嬉しく思います。

別府市でも、いろいろな地球温暖化対策の取り組みを進めています。

市村議員が言われた、自然に優しいエネルギーの利用についてですが、南小学校やべっぷアリーナには「太陽光発電パネル」を設置しています。また、地熱発電に

については、市内では杉乃井ホテルが設置しています。太陽光、太陽熱、地熱、温泉熱、風力など、これまであまり利用されていなかったエネルギーについては、下水処理場や清掃工場の余熱なども含め、新しいエネルギーとして、これから活用していきたいと考えています。

大きなテーマである地球温暖化問題も、市民の皆さん一人ひとりの心がけや身近な取組みが大切であり、その取組みが大きな成果につながると考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 1番。

○1番議員（市村真衣さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、10番議員、石垣小学校の柳 嘉希さんの一般質問をお願いいたします。

[10番議員 柳 嘉希さん、登壇]

○10番議員（柳 嘉希さん） 私たちは、学校で何が不便か、何をよくしてもらいたいかを話し合いました。すると、トイレのことが特に話題になりました。昨年、私たちは、社会見学で中津のTOTO工場へ行ってきました。「毎日必ず使うもの、みんなが必ず使うもの、だからこそ、みんなに使いやすい」というめあてを持って働いているそうです。でも、石垣小学校では、「気持ちよく使えない」「入りたくない」という人が多いのです。中には、学校でトイレに行きたくなったのに家に帰るまで我慢している人もいます。そのわけは、自宅のトイレや、商業施設のトイレとは違って、和式トイレに抵抗を持っている人が多いからです。学校のトイレは、かなり前に作られているので、和式のトイレが多く、一つずつしか洋式トイレがありません。腰を下ろすには気持ちが悪く、冬にはとても冷たくなります。私たちは、掃除で、洋式の便座をペーパーできれいに拭いています。寒くならないために、便座カバーをつけたらどうかと考えましたが、衛生的に不十分です。さらに、壁や床も汚れが落ちにくい物が使われているので、ポスターを貼って使い方を注意してもらったり、何度もクレンザーでこすったりして努力をしていますが、きれいになりません。また、風が通らず臭いがいつまでも残ってしまったり、天気が悪いと暗くてよく見えなかったりする構造や掃除用具置き場が整備されていないことも、私たちの力ではどうなおしてよいのか分からず、困っています。

ぜひ、私たちが毎日気持ちよくトイレを使えるようにしてほしいと願っています。

私たちの願いをかなえるような計画はありますか。教えてください。

○副議長（溝上聡美さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えします。

柳議員や学校の皆さんが、トイレの壁や床などを日頃から掃除をしている様子を聞き、教育委員会として大変嬉しく思います。学校を大切にしてください、ありがとうございます。

現在、別府市内の公立学校は、小学校15校、中学校8校、高等学校1校、そして幼稚園が15園あります。それぞれ、同じ時期に建てた建物ではありませんので、新しい建物や古い建物もあります。毎年、それぞれの学校や幼稚園の補修・修繕は、計画的に行っています。

柳議員が通っている学校の校舎は全て新しいとは言えません。特に、管理教室棟は建替えから、40年以上経過しています。皆さん方が安心して学べるように、耐震化工事を進めています。そのような工事は、多くの費用が必要となりますので、一度にたくさんの学校でできないのが現状です。石垣小学校も耐震化工事を計画していますので、その時には、トイレの改修もしたいと思います。それまでには、時間もかかりますので質問にありました、掃除用具置場の整備など早くしなくてはならない整備は、学校と相談して実施していきたいと思います。これからも、皆さん方が安心して学校生活を送れるように、困っていることなどがありましたら、先生方と相談して、校長先生を通してから教育委員会に連絡していただきたいと思ひます。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 柳 嘉希議員の質問にお答えします。

柳議員の学校環境の改善を思う気持ちは痛いほど分かりました。

私達も全力で、市内の学校の校舎を、より安全で安心なものに改修していくとともに、皆さんが快適に学習できる環境づくりに努めていきたいと思ひていますので、柳議員も引き続き学校を愛し、大切にしてくださいと思ひています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 10番。

○10番議員（柳 嘉希さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、5番議員、南立石小学校の山口 昌君の一般質問をお願いいたします。

[5番議員 山口 昌君、登壇]

○5番議員（山口 昌君） 南立石校区の生目町に、ローソンがあります。そのローソンがある三さ路から小さい道へ入っていくと、小さな横断歩道があります。その横断歩道がとても危険です。その横断歩道に信号機を設置して頂けないでしょうか。

私の友達に、その周辺に住んでいる人もいます。その友達によると、あの横断歩道の周辺の道路は、車のスピードがとても速く、毎日通るのにとても危険だそうです。確かにその道路は、大通りから直接住宅街に入る道のためか交通量も多く、現地におもむいた私自身が危険でした。

ただし、あの横断歩道に信号を設置すると、大通りから入るところが混雑しかねません。しかし、すでに着工したインターチェンジ周辺から南立石小学校周辺までをつなぐ新たな県道が完成したら、大通りの交通量は減ると思います。そうなれば信号を設置しやすくなるのではないのでしょうか。

信号は設置できなくとも、様々な手段があります。例えば、「止まれ」の文字を道路に刻む、交差点部分に減速のためのブロックを設置する、交通指導員さんの配置の時間を増やすなどが考えられます。

そこで質問です。生目町の横断歩道に、信号機を設置する計画はありますか。無ければその他の安全対策を考えておられますか。

何かが起こってからでは遅いのです。時間も労力も金銭も、人の命には代えられないと思います。どうか横断歩道に何らかの安全対策を施して下さい。

○副議長（溝上聡美さん） 企画部長。

○企画部長（梅木 武君） お答えします。

信号機の設置と交通安全対策についてのお尋ねですが、信号機の設置は、大分県公安委員会という警察を管理するところが行っています。このため、別府市では、自治会や市民の皆さんからの要望があれば、まず現地で調査をして、別府警察署に要望書を提出します。そして、別府警察署でも調査をし、必要と判断したものについて、大分県公安委員会に要望書を提出するようになっています。

別府警察署に尋ねたところ、信号機の設置については、現在、別府警察署が担当する地域の中の23か所で要望が上がっており、緊急性が高いところから順番に設置しているそうです。山口議員のご質問にあった場所は、将来、道路の形が変わることが考えられるため、すぐに信号機を設置することは難しいということでした。

先日、別府市では現地調査を行いました。横断歩道や停止線などの交通安全施設が、長年の使用でかなり薄くなっていました。このままでは、ドライバーが横断歩道に気づかないことも考えられます。今後、横断歩道や停止線等を塗り替えたり、交差点がわかりやすいようにえんじ色の区画線を引いたりすることなど、交通安全施設の整備について検討していきたいと考えています。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山口 昌議員の質問にお答えいたします。

南立石生目町の横断歩道を利用するお友達のことを思う気持ちを大変嬉しく感じました。

山口議員のご質問のとおり、歩行者にとって危険な道路の問題は、市民の皆さんにとってもそのお友達にとっても日常生活の中で最も身近な問題と思っています。

今、企画部長がお答えしたように、難しい問題もありますが、出来る限り安全な方策を考えていきたいと思っています。

山口議員のお友達や地域の方々が、安心してまちを歩いていただけるようにすることが、別府市の重要な課題のひとつであり、私がまちづくりのひとつとして掲げている「安全・安心のまちづくり」を目指すことにも通じています。山口議員の交通安全に対するお気持ちに沿うような対策を進めていきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 5番。

○5番議員（山口 昌君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、13番議員、大平山小学校の軸丸 旭君の一般質問をお願いいたします。

[13番議員 軸丸 旭君、登壇]

○13番議員（軸丸 旭君） 国際化について質問します。

僕は、小学校3年生のときに中国から日本へ来ました。

はじめは、みんなが何を言っているのか、全く分かりませんでした。学校では、先生と友だちが親切に色々なことを教えてくれました。電子辞書を片手に学級担任の先生と一緒に日本語を勉強し、野球部にも入って、全てゼロからスタートしました。家では、日本語のテレビを毎日見て過ごしました。

転校してきて1カ月たった頃から、少しずつですが、友だちが話していることが分かるようになり、それからは、たくさんの友だちもできました。今でも、たまに難しい言い回しが分からないことはありますが、毎日の生活や学校の勉強で困ることはありません。

大変なこともあったけど、この3年間、学校では色々な活動、見学など、楽しみ・喜び・感激がいっぱいありました。僕は、別府に来て本当に良かったと思っています。僕の夢は、別府と僕が生まれた中国の橋渡しになる仕事をする事です。

そこで質問です。別府市は、外国からの留学生が多いですが、僕のように外国から来た小中学生が、早く日本に溶け込み、安心して勉強ができるようになるため、別府市では、どのような支援に取り組んでいるのか教えてください。

○副議長（溝上聡美さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えいたします。

軸丸議員が大変な努力をして、今、一生懸命に学んでいることに感心しました。色々な苦労があったと思います。多くの人たちが苦労していることを教育委員会では、早く解決してあげたいということで、外国から来た人や外国から帰ってきたお友達に勉強の時に通訳したり相談にのったりする教育相談員という人を派遣する支援を行っています。今、教育委員会では6名の相談員が、外国から来た人達に早く日本に慣れていただけるように取り組みをしています。これからも教育相談員を学校に多く派遣して、一日も早く日本の生活に慣れるようになっていきたいと思っています。また、それと同時に軸丸議員のように努力して、日本の言葉や生活に慣れていくように期待をしているところです。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 軸丸 旭議員の質問にお答えします。

別府市は、国際観光温泉文化都市です。軸丸議員は小学校3年生の時に中国から



日本に来て、大変な苦勞があったと思います。しかし、お話を聞きながら、別府市は現在ONSENツーリズムのまちづくりを進めており、これは外国から、また全国から来るお客さんが、「別府って心が温かいまちだなあ」、「また来たいね」と思えるような「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり、そして、将来は別府に住みたいと思えるまちづくりをしたいと考えています。多くの外国からのお客様をお迎えするとともにたくさんの留学生が別府市で生活しています。別府を訪れる外国の方々、別府で暮らす外国人の方々が安心して過ごすことができる、軸丸議員と同じように、別府に来てよかったと思える気持ちになれるような、まちづくりを進めることは別府市にとって大変重要なことであり、国際温泉文化都市の果たす重要な役割であると思っていますところでは。

小・中学校においては、外国から来た児童生徒の皆さんが安心して勉強したり生活したりすることができるよう、軸丸議員の経験を生かして、外国から来た友だちを支えていきたいと思っています。

軸丸議員には、勉強やスポーツに一生懸命取り組んでいただき、将来、別府と中国、そして、日本と外国の橋渡し役として活躍していただくことを期待しています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 13番。

○13番議員（軸丸 旭君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、2番議員、南小学校の山口莉奈さんの一般質問をお願いいたします。

[2番議員 山口莉奈さん、登壇]

○2番議員（山口莉奈さん） 観光について質問をします。

別府は温泉が全国でも有名で、私も遠足で地獄めぐりをしました。想像していたよりも種類が豊富で、こんなにあるんだとびっくりしました。色や様子にそれぞれ特徴があるので、面白かったです。また、ユニークな名前の地獄もたくさんあり、その名前の由来も興味深いものでした。私は、このすてきな地獄めぐりを、観光客や地元の人にもアピールして、楽しい経験をしてほしいと思っています。

そこで質問です。別府の観光の定番コースとも言える地獄めぐりを、別府市では

具体的にどのようにして全国に向けてアピールしているのかを教えてください。

私は、日本だけでなく世界にも誇れる地獄めぐりのコースを増やし、より多くの人に知ってほしいと願っています。また、地元の小学生にも、遠足や社会見学を通して自分の住む町にこんなに素晴らしいものがあることを知ってほしいです。回答をお願いします。

○副議長（溝上聡美さん） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（古庄 剛君） お答えします。

地獄めぐりは、大分県内の主要な観光施設の中で、今年のゴールデンウィーク期間中、一番お客様が多かった別府の代表的な観光施設です。

別府市では、「湯わく紀行」という、別府の温泉、自然、イベントなどを紹介する観光パンフレットを作っていますが、その中で、別府市を代表する施設として最大のスペースを地獄めぐりのPRに使っています。

また、テレビ局の旅番組やドラマ番組、新聞社、雑誌社などから、別府の観光について撮影や取材の協力をお願いをされることがありますが、そのようなときには、初めての人にも地獄めぐりの良さを十分に伝えることができるよう、市の職員も施設の人と一緒に案内をしています。

山口議員から提案されました社会見学を通して、より多くの小学生に見学していただくことについてですが、平成20年度は、中学校3校、小学校8校、幼稚園で2つの園が地獄めぐりの見学に行きました。しかし、全ての小学校で実施するには、地獄から遠いところにある小学校では、見学のバスが必要となり、バス代が保護者の負担になるために、すぐに実施することは難しいのではないかとこのように考えています。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山口莉奈議員の質問にお答えします。

ご質問は、別府市が誇るこの地獄巡りを、日本だけでなく世界に目を向けてアピールをすべきというご指摘ですが、山口議員は世界に目を向けた広い視野を持っており、大変素晴らしいというふうに感じました。

別府市でも、山口議員と同じように世界に目を向けまして、観光パンフレットは、英語版、韓国語版、中国語版という3種類を作成し、PRに活用をしていま

す。

地獄めぐりについては、8つある地獄のうち4つの地獄が、今年の5月に開かれた国の文化に関する「文化審議会」という重要な会議の場で、「景色のよいことで知られている土地」という国の「名勝」に指定しようという意見が出されました。これは大分県内では耶馬溪に次いで、2カ所目、86年ぶりにこの名勝指定が行われるということで、別府市としても大変うれしいニュースだと思っています。今後も、この素晴らしい施設を全国はもちろんですが、世界へ向けて紹介していきたいなどこのように考えています。

また、社会見学についてですが、今後も市内の子どもたちはもちろんですが、別府市の誇るべき施設を身近に感じていただけるように、教育委員会にしっかりお願いをしていきたいとこのように考えます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 2番。

○2番議員（山口莉奈さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、3番議員、西小学校の吉良倫太郎君の一般質問をお願いいたします。

[3番議員 吉良倫太郎君、登壇]

○3番議員（吉良倫太郎君） 僕が、4月にあった剣道の全国大会で熊本に行った時気がついたことです。

会場の体育館でお弁当やお土産を販売していて、飛ぶように売っていたのを見て、べっぷアリーナで試合があった時は、お弁当販売やお土産の売店もなかったことを思い出しました。もし、会場内でのお弁当販売やお土産の売店があれば、会場に来た人が自然に買おうと思うのではないかと思います。せっかく大きな大会が別府市であるのだから地元の特産品やお土産を販売したら、もっと経済効果も出て別府市のPRも出来るのではないかと、思います。さらに、観光パンフレットや温泉施設の優待券などを来場者に配布すれば、行ってみようと思う人も増え、良い宣伝効果になるのではないかと、思います。

今後、べっぷアリーナで大会がある時、このような取組みをする予定はありますか。

○副議長（溝上聡美さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えします。

吉良議員が会場になりました、熊本市総合体育館に尋ねたところ、いろんなスポーツ等を行う団体が、自分たちでお弁当やお土産を販売したいという届けをすれば、販売を許可しているということでした。べっぷアリーナでも同じようなことをしています。例えば、先だって全国からのバドミントン大会がありました。その時には、そのバドミントン大会を主催する団体のほうが、お弁当やお土産を売っていましたが、市内のスポーツ店からは記念品等を販売していました。これからもべっぷアリーナを使う団体から、お土産や別府市の特産品をぜひ販売したいという申し込みがあれば、許可をさせていただけると思っていますし、私たちもそのことをべっぷアリーナのほうに伝えたいと思っています。

また、吉良議員の質問にありましたパンフレットについては、べっぷアリーナのオープン以来、受付窓口に観光パンフレットを置いて、皆さんにご自由に利用していただいています。しかし、吉良議員からご指摘がありました市営温泉の優待券は出しておりません。その代わりに、様々な施設の割引券が付いている「べっぷエンジョイマップ」を配布して、利用してもらっているところです。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 吉良倫太郎議員のご質問にお答えします。

吉良議員がご質問の観光宣伝というのは、まさに観光都市である別府市にとって、とても大切なことだと思っています。

別府市には、別府八湯という8つの温泉地があります。いたるところから立ち上る湯けむり、これも「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれています。別府市では、お客様をあたたかくお迎えしようという「住んでよし、訪れてよし」のONSENツーリズムのまちづくりを進めておりますし、笑顔でお客様に接しようという「スマイルべっぷ運動」も推進しています。

これもぜひおもてなしの心ということで一貫しているわけですが、海と山に囲まれた別府ならではの美しい自然を楽しみ、温泉で日ごろの疲れを癒してください、これを私のうたい文句にしております。ご指摘のべっぷアリーナでは、毎週のようにいろんな全国大会や西日本大会などのスポーツ大会などが行われています。私は

その場に出たときにいつも日本一の別府温泉で疲れを癒してください、そして別府の食文化、「別府とり天」とか「別府冷麺」とか、しっかり食文化も味わってください、お土産もぜひ別府で買ってください、こういうことを今、宣伝をしています。そういう中で吉良議員ご指摘のべっぷアリーナやビーコンなど大きな大会のあるところでお土産を買える状況を作ってくださいというお話でした。今、教育長がお答えしたように、そういう団体から申し込みがあれば、しっかり許可をしています。たくさん一生懸命やってるんですが、まだまだ中にはそういう販売のところまでしていない団体の申し入れもあるようですから、しっかりとこれから大会開催時にはべっぷアリーナまたはビーコンにおいてもできるだけ会場内でお土産が手に入るように、そして販売していただけるようお願いしたいし、またパンフレット等もできるだけ置きたいとこのように考えています。いろいろな方法で別府市の良さを全国に宣伝をし、広めていきたいとこのようにと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 3番。

○3番議員（吉良倫太郎君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 次に、4番議員、青山小学校の上坂祐介君の一般質問をお願いいたします。

[4番議員 上坂祐介君、登壇]

○4番議員（上坂祐介君） 観光について質問をします。温泉で有名な別府は、観光客が多いです。それは嬉しいのですが、若い人達にももっと温泉まつりに来てもらいたいと思います。

この前、僕の祖母が、温泉まつりで、お湯かけやみこしを見たことを話してくれました。それまで僕は、温泉まつりがあることは知ってたけど、何をやっているかまでは知りませんでした。クラスみんなに聞いてみたら、行ったことがある人は一人だけで、他の人は内容もよく知らないということでした。インターネットで調べてみると、たくさんのイベントがあっぴびっくりしました。こんなにあると知っていたら行っていたのになと思いました。だから、学校の掲示板にポスターを貼ったり、プログラムを書いた紙を学校で配ったり、むし歯予防ポスターのようにポスターコンクールをしてみたりすると、僕たち小学生にも身近に感じられると思いま

す。

温泉まつりをもっと子ども達に知ってもらおう工夫を何か考えていたら教えて下さい。

○副議長（溝上聡美さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（古庄 剛君） お答えします。

温泉まつりは、温泉に感謝する市民のお祭りとして、毎年4月の初めに開催しており、別府市内外からたくさんの方が参加しています。また、祭りの期間中は、温泉が無料で入れたり、みこしやダンス等の出し物が楽しめたりと、市内の各会場で、様々なイベントが行われています。

今年の温泉まつりでも太鼓の演奏が行われ、上坂議員と同じぐらいの年齢の子どもさんも演奏者として、祭りを盛り上げてくれました。

ご質問のありました、皆さんに温泉まつりをよく知ってもらおう工夫としては、パンフレットの配布以外に、毎年新聞等にも広告を載せていますので、ご覧になって参加していただくと大変ありがたいと思います。

上坂議員をはじめ、皆さん若い方の力をお借りできれば、祭りがさらに盛大なものになると考えています。これからは春休み中の小中学生の方にたくさん参加してもらえるように、パンフレットの配布等をさらに徹底していきたいと考えています。

○副議長（溝上聡美さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 上坂祐介議員の質問にお答えします。

上坂議員の別府の未来を担う子どもたちに温泉まつりのことを知ってもらいたいという気持ちは、まったく私の思いと同じです。本当にありがとうございます。

別府市民憲章の中には「温泉を大切にしましょう」という項目があります。温泉まつりはこの日本一の温泉に感謝するお祭りなんですね。そういう意味で何とかこの温泉まつりを市民の皆さん、市民総参加でできるようなお祭りにしたいというのが私の思いで、数年前から見直しをはじめました。いろんな形で多くのイベントが加わって、本当に楽しいお祭りになりつつあります。地球からの贈り物に感謝するお祭りであるこの温泉まつりに、市民や観光客の皆さんが、一人でも多くの皆さんに参加していただきたい、これが私の気持ちです。

そのために、温泉まつりには、あらゆる世代の方が楽しんでいただける催しがい

っぱいあります。特に、皆さんの世代に嬉しいイベントかなと思えるのは、例えば、やせうま、石垣もち、温泉たまご、こういうものをふるまう「湯けむりお接待」というのがあります。こういうイベントは皆さんが楽しめるのではないかと思いますので、上坂議員も来年の温泉まつりには、ぜひ参加いただいて、おうちの皆さんやお友達の皆さんにも教えてください。そして行ったら楽しいよとこういう思いで誘っていただければとこのように思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（溝上聡美さん） 4番。

○4番議員（上坂祐介君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（溝上聡美さん） 以上で、一般質問を終了いたします。

休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時05分 再開

○議長（鈴木理大君） 再開いたします。

日程第5により、提言の発表を行います。発表者は4名です。提言の順番により、発表をお願いいたします。

最初に、18番議員、朝日中学校の高橋 舞さんに提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 高橋 舞さん、登壇]

○18番議員（高橋 舞さん） 私の学校では、ペットボトルのキャップや書き損じハガキ、テレフォンカードを回収しています。それらは募金ボランティアや学校設備の向上のために使いたいと思っています。普段はゴミになっていたものが有効利用できるもので、ゴミの削減にもつながります。

私はこの活動を別府市全体に広げていきたいと思っています。ペットボトルのキャップや書き損じハガキ、テレフォンカードだけでなく、缶ジュースのプルタブやベルマークなど、ボランティアやリサイクルにつながるものを集められたら良いです。

集める場所も、青年会議所や市役所内だけでなく、コンビニやスーパーなどに協力してもらって回収ボックスを設置できたら良いと思っています。そうすれば自然と市全体に広がっていくのではないのでしょうか。

これは1人1人の協力が必要ですが、まずは協力するための環境を作っていただ

きたいと思うのでよろしく申し上げます。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 高橋 舞議員のご提言にお答えいたします。

書き損じハガキ、テレフォンカード、ベルマークなどを集めて、ボランティア団体等に寄付を行う活動、これらは以前から県レベルで、大分県ボランティアセンターが窓口となって行われてきました。また最近、ペットボトルキャップの回収事業も非常に盛んになってきているとふうに感じています。

別府市では、現在、別府市が窓口となってペットボトルキャップを回収して、世界の子どもたちにワクチンを届けるという事業を計画をしています。今まで、ゴミとなっていたペットボトルキャップを有効に利用するという事、そして、ゴミの減量を推進していくためにも、市民の皆さんがペットボトルのキャップの回収活動に取り組むやすい環境を整えたいということから、その準備を進めているところです。

高橋議員をはじめ、朝日中学校の皆さんが、いつも募金ボランティアやゴミの削減について意識を持って、行動していただいていることは私もよく知っております。いつも大変嬉しく思っていました。これからも人を思う気持ちを大切にして、現在の取り組みを継続していただきますようお願いを申し上げます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 次に、19番議員、鶴見台中学校の田口真希さんに提言の発表をお願いいたします。

[19番議員 田口真希さん、登壇]

○19番議員（田口真希さん） 私の住む石垣西4丁目では「事故のない町、ゴミのない町、あいさつのある町」をスローガンに自治会の役員の方々が中心になってよりよい町づくりのために頑張っています。そして、1年を通していろいろな行事があります。私は幼い頃から、そういう行事に両親がよく連れて行ってくれたおかげで、今では顔見知りの方がたくさんいます。そんな方々から、「大きくなったなあ」とか、「頑張りよるかい」とか声をかけられると嬉しくなり、「この地区の人たちはいい人が多いなあ」と思っています。

この地区でも、交通事故・不審者の問題があり、不安を感じることもあります。しかし、自治会やPTAの方々が、パトロールをして私たちを守ってくださって



ます。私は、地区の人たちの活動を見て、「人と人とのつながり」、「思いやり」、「助け合い」を感じます。

私の中学校では、毎年リサイクル活動や春木川清掃に取り組んでいます。活動を通して、地域の自然や、地域の人たちの温かさに触れることができます。そして、活動後も地域の人があいさつをしてくれたりして、私は地域の一員であること、地域に守られていることを強く感じています。

このような体験を通して、心のつながる地域づくりには、まず「地域の人を知ること」、「地域の中に入って活動をする事」が大切だと思っています。

そこで私は、次のことを提言します。

私たち中学生は部活等で帰りが遅くなり、地域の活動に参加することが難しくなっています。しかし、ためになる活動には参加したいと思っています。地域の活動を知れば、参加できることもあると思います。そのためには、ホームページや市報等で詳しく掲載していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 田口真希議員のご提言にお答えします。

住んでいる地区の人たちの活動を見て、「人と人とのつながり」、そして「思いやり」や「助け合い」を感じられる、そういう気持ちを田口議員のように生徒の皆さんが持たれていることを知って、本当に嬉しく思いました。田口議員が育ってきた地域は、別府市が現在進めている「住んでよし」のまちづくりを進めていただいているんだと強く感じました。また、鶴見台中学校のみなさんは、社会を明るくする運動にも参加している姿をよく拝見しています。

最近、住民同士のコミュニケーションというのが非常に希薄になったと言われています。自分が住んでいる地域にどんな人が住んでいるのか、わかっているのと、わかっていないのでは、地震や台風が起こったときにこの助け合いも含めて対応については、防犯活動にも大きな違いが出ます。そういう意味では本当に地域の活動がどれだけ大事なのか、そういう地域ぐるみの皆さん方の思いやり、声かけがどんなに大切なのかということを実感で今、感じているところでございます。

地域の活動をホームページや市報で詳しく掲載してほしい、ということですが、市報には、各自治会、さらにその特徴や歴史を紹介するコーナーがありま

す。今後もこれを掲載していきたい、このように考えております。

また、各自治会においては、それぞれの地域が公民館報とか、また町内会報とか自治会報とかいろんな形で工夫をして、地域の毎月の活動を詳しく報告をしているというふうに聞いています。田口議員のおうちにも届いていると思いますので、ぜひご覧になっていただきたいと思います。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 次に、16番議員、青山中学校の小畑太哉君に提言の発表をお願いいたします。

[16番議員 小畑太哉君、登壇]

○16番議員（小畑太哉君） 別府の町は、観光客も多く訪れるため、日々たくさんのボランティアの人々が、環境整備などのボランティアに取り組んでくれています。

しかし、それでもまだ、一部ゴミが落ちている場所などがあります。そのため、私はボランティア活動をもっと活性化させ、さらに多くの人が環境美化のためのボランティア活動に参加してもらえるようにしなければならないと思います。そこで次のことを提案します。

それは、ボランティアをしてくれた人々に別府市内で使える通貨を発行して、買い物などに活用してもらうことです。

このような活動を行うことで、ボランティアに参加してくれる人が増え、町はきれいになると思います。そしてそのことで観光客からの印象も良くなると思います。同時に、少しは別府市の経済が良くなると思います。さらに、小さい子が参加してくれたら、その子ども達の心の教育にもつながると思います。以上のことをよろしくお願いします。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 小畑太哉議員のご提言に、お答えします。

別府市に来ていただく観光客の方々が感じる印象だけでなく、別府市を愛する市民ボランティアの方々、ひいては別府市の経済発展、そういうところまでも視野に入れたご提言をいただきました。本当にありがとうございます。

清掃活動等のボランティアの方々に、別府市内で買い物等に使える通貨を発行してはどうか、というご提言ですが、そういった事業として、別府市では、地域通貨

「泉都（セント）」の取組みを行っています。

これは、ボランティア団体や自治会の清掃活動、紙パックの回収等に協力をいただければ、「泉都」というポイントをもたらせる仕組みになっています。貯まったポイントは、市営温泉に無料で入れたり、大分トリニータの観戦の割引がもらえたり、40点以上のいろいろな商品との交換ができるようになっていきます。このことはまだ市民の皆さんに十分な宣伝が行き渡ってなく、ぜひ皆さんからも伝えていただいて、この泉都の活動の取組みにご協力をいただけたらとこのように思っています。

今後、皆さんが利用しやすい地域通貨にできるようにするとともに、多くの方が清掃などのまちづくり活動に積極的に楽しく取組んでいけるようにしていきたいとこのように思っています。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 次に、17番議員、中部中学校の登川大地君に提言の発表をお願いいたします。

[17番議員 登川大地君、登壇]

○17番議員（登川大地君） 僕は小学校の頃から気になっている事があります。それは商店街にほとんど人がいない事です。店もほとんどシャッターが下りていて、僕の母は「昔はもっと人が多かったのに」と言っていました。

客足が減った理由は、僕には分かりませんが、大人の人からよく「周りにスーパーマーケットができたから」ということを聞きます。

それと「車を使う人が増えて、駐車場のない商店街には人が来なくなった」という事もあるのではないかといいことをよく聞きます。

そこで僕は商店街を活気づけるために考えたことがあります。それは、豊後高田市の昭和の町のように、商店街の改築を行うことです。商店街の名前は「昭和通り」がいいと思っていますが、別府市の皆さんに名前を考えてもらうのもいいなと思っています。かなり大規模でお金もかかることですが、これが実現すれば商店街は活気づき、客足の増加につながり観光業に少しはプラスになるのではないかといいと思っています。1度で全て改築することは難しいと思いますが、少しずつ行っていけば必ず出来ると思います。今、何か始めなければ、今、何か実行しなければ商店街はどうなってしまうのか。どうか御検討をお願いします。

○議長（鈴木理大君） 市長。

○市長（浜田 博君） 登川大地議員のご提言にお答えします。

中心商店街は、市民の皆さんの買い物の場であると同時に、別府を訪れる観光客の皆さんをお迎えする玄関でもあるというふうに考えております。ただいま登川議員からご指摘をたくさんいただきました。この商店街に賑わいをどうしたら取戻せるのか、これを創り出すことは「国際観光温泉文化都市べっふ」の活性化につながるという考えはまったく私も同じです。そこで別府市では、中心商店街の活気を取戻すための様々な事業を盛り込んだ計画を作りました。それは「中心市街地活性化基本計画」と言うんですが、昨年7月に総理大臣の認定もいただきました。この計画はこれから5年間に具体的にどんなことを実施し、それぞれの事業に国の補助をいただいて行うという取組みです。

そして、今、もう取組んでいます。例えば、空き店舗対策として、空き店舗を改築して、誰もが気軽にそこに行き、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむことができる「まちなかカフェ」を造ったり、別府市を代表する産業、別府竹細工の制作工程を間近に見れる「竹工房」を造りました。そして高齢者の皆さんがそこに集まって交流を深める「三世代交流サロン」、この事業も実施しました。現在、合計8カ所、そういう取組みを進めています。

このように空き店舗が、芸術とか、福祉とか、伝統工芸、これまでになかった魅力を持つ場所にすれば、そこに行ってみたいと思えるわけです。そういうところが出来ると、市民の皆さんも行ってみようかなと思えるようなまちづくりができるんじゃないかなと思っています。そういう意味で、新たな人の流れが生じてくるだろうという思いで、今、一生懸命がんばっているところです。

今後も中心市街地では、芸術、そして音楽、商店街が主催する行事、そういう様々なイベントを充実させていきたいと考えていますから、ご家族の皆さんやお友達と一緒に、ぜひ中心市街地に出かけていただきたいと思っています。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（鈴木理大君） 以上で、提言の発表を終了いたします。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」を議題いたします。

提出者の20番議員、山の手中学校の板井圭史郎君から、提案理由の説明をお願いいたします。

[20番議員 板井圭史郎君、登壇]

○20番議員（板井圭史郎君） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「 発展、進化する町 別府 」

子ども宣言

私たちは今日、この「子ども市議会」で、今、私たちが住むまち「別府」について考えました。この場で出た、これまでの別府についての質問や提言を生かして、さらに進化する町にしていこうと考えるきっかけになりました。

別府は、日本でも有数の豊富な温泉、そして伝統工芸竹細工をはじめとする文化や芸術があります。これらを生かして別府をさらに発展させていこうと思います。そのために別府の発展に協力できるように、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

- 1 別府の文化・伝統を知り、日本国内だけでなく世界に向けて発信し、別府を訪れる多くの方々をあたたく迎えます。
- 2 きちんとゴミの分別やリサイクルを進んで行き、地球に優しいエコ活動を日々の生活の中に取り入れていきます。
- 3 老若男女、国籍関係なく、すべての生命が差別なく様々な場所でお互いが協力していくことができる一丸となった別府市をつくっていきます。
- 4 私たち一人ひとりが明るく健やかに過ごせる学校を目指していきます。

以上のことを宣言いたします。

平成21年7月27日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、議員、皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（鈴木理大君） ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号子ども宣言について」に、賛成の皆さんの起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（鈴木理大君） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって可決されました。ご着席ください。

以上で、議事のすべてを終了いたしました。

これをもって、第7回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前11時31分 閉会

## [閉 会 式]

○市議会事務局（南 英子さん） 皆さまお疲れさまでした。会議録署名議員の3番 西小学校の吉良倫太郎君、8番 上人小学校の原田真衣さんの両名は、記念撮影終了後に会議録の署名をしていただきますので、よろしくをお願いします。

それでは、議長、副議長は議員席へお戻りください。

ただいまから、第7回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） みなさん、きょうは本当にお疲れさまでした。

小学生と中学生によるこの「べっぷ子ども市議会」、今年で第7回目となりました。すっかり定着し恒例となりました。

ちょうど私が市長に就任した時から始めて7回目です。たしか3回目か4回目のときに全国の子ども会新聞に載りました。小学生と中学生の合同ということは本当に珍しいということで、素晴らしい議会ですということで全国に紹介していただいたことを今、思い出しました。

また、今日は私自身が勉強させられました。皆さん方がいろんな部門でしっかり勉強しているなという思いをしましたし、皆さんの観察力の鋭い質問やそして素晴らしい内容の提言、さらには別府市発展に向けて、皆さんの心のこもった子ども宣言をいただきました。本当に大変感動しました。ありがとうございました。21世紀のまちづくりの主演は、まさにここにいる皆さん方です。余談な話になると思いますが、早い人はあと10年したら被選挙権、市議会議員に立候補できるようになります。その時にぜひ、子ども市議会では私は浜田市長にこういう質問をして追及したんだと、10年経った今、何もできていないじゃないかと、厳しくその時の市長にお叱りをください。もうその時はですね、ここにおられる皆さん方は誰もいないと思いますからね。

## [議場内笑い声]

しかし、行政は継続ですから。継続していきますから、私が言ったことは嘘ではありませんし、真剣に取り組んでいきます。執行部が一生懸命、これから取り組んでいきますから、その時には厳しいご指摘もいただけたらと、このように思ってい

ます。

今日子ども市議会に出席した貴重な体験をこれからも勉強に生かして、一回りも二回りも大きくなっていただきたいと思います。皆さんの成長を心から期待をしております。

そして、今日、傍聴いただきました保護者の皆さん、学校の先生方、本当にご指導ありがとうございました。この子どもたちの思い、これをしっかりと見守っていただきまして、皆さんも今、大人の立場でぜひ、私たちと一緒にこの別府市をどう発展させたらいいのか、このことを真剣に考えていただきご支援とご指導を賜りますよう、心からお願いを申しあげたいと思います。

終わりにりましたが、第7回のべっぷ子ども市議会の開催にご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、そして別府市PTA連合会の皆さま方、保護者の方々と先生方、そして別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆さま方に心から感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。以上で私の話を終わります。皆さんご苦労さまでした。

○市議会事務局（南 英子さん） 続きまして、郷司義明教育長より、本日頑張っていたいただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 北部中学校 疋田竣土君。

[21番議員 疋田竣土君、議場中央フロアに立つ]

○教育長（郷司義明君） それでは、疋田議員に代表して記念品を差し上げます。今日は皆さん方のしっかりした考えを堂々と発表していただきました。これからはしっかり頑張って、別府市のためによろしく願います。お疲れさまでした。

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局（南 英子さん） ここで、子ども議員を代表して、疋田竣土君からお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに主催者の皆さま方は、ご起立願います。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（疋田竣土君） 今日は、私たちの出した質問や提言に非常に分かりやすく答えていただき、ありがとうございました。

今日、出した質問や提言は、私たちが暮らしている別府市がより、美しく、住み



よく、そして誰からも愛されるようになるための別府市民からの願いや思いです。市長さんをはじめ議員さんや市役所職員の皆さんは、これからもより住みよく美しい別府市を目指してがんばって行ってください。私たちもこれからを支える別府市の子どもたちとして、大人の方々と協力して、もっと別府市が美しく、住みよくなるためのまちづくりに取り組んでいこうと思います。

今日は、とても貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

(拍手)

○市議会事務局（南 英子さん） それでは、皆さまご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（南 英子さん） 以上をもちまして、第7回「べっぷ子ども市議会」閉会式を終了いたします。

# 「 発展、進化する町 別府 」

## 子ども宣言

私たちは今日、この「子ども市議会」で、今、私たちが住むまち「別府」について考えました。この場で出た、これまでの別府についての質問や提言を生かして、さらに進化する町にしていこうと考えるきっかけになりました。

別府は、日本でも有数の豊富な温泉、そして伝統工芸竹細工をはじめとする文化や芸術があります。これらを生かして別府をさらに発展させていこうと思います。そのために別府の発展に協力できるように、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

- 1 別府の文化・伝統を知り、日本国内だけでなく世界に向けて発信し、別府を訪れる多くの方々をあたたかく迎えます。
- 2 きちんとゴミの分別やリサイクルを進んで行き、地球に優しいエコ活動を日々の生活の中に取り入れていきます。
- 3 老若男女、国籍関係なく、すべての生命が差別なく様々な場所でお互いが協力していくことができる一丸となった別府市をつくっていきます。
- 4 私たち一人ひとりが明るく健やかに過ごせる学校を目指していきます。

以上のことを宣言いたします。

平成21年7月27日

べっぴ子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し  
署名します。

平成21年7月27日

べっぷ子ども市議会

議長

鈴木理大

副議長

溝上聡美

会議録署名議員

原田真衣

会議録署名議員

吉良倫太郎



別府市議会子ども会を  
支える議員連盟 会長

首藤 正

子ども議員の皆さん全員が各小中学校の代表として堂々とした態度で臨まれ、今回の子ども市議会もこれまで以上に素晴らしいものであったことを高く評価しております。また、別府への思いを込めた質問や提言は、純真な鋭い視点で捉えており、非常に感心いたしました。特に教育環境や通学路の問題では、実際にそれを享受する立場から説得力ある発言であったと感じております。この貴重な経験をこれからの“ふるさと『べっぷ』づくり”に生かしていただければ幸いです。

私たち市議会議員も、皆さんの質問や提言が、市政に生かされるよう応援してまいります。

ご家族、地域の皆さま、先生方、PTAの皆さま、そして市子連の皆さまには、子どもたちの健全な成長を見守っていただくとともに、諸活動への一層の温かいご指導とご支援をお願いいたします。



別府市教育長

郷司 義明

「第7回べっぷ子ども市議会」における子どもたちの発言には、「子どもやお年寄りにとって安全な道路整備」「思いやり、助け合いで心がつながる地域づくり」といった優しい心遣いや、「温泉まつりで観光客に喜んでもらえる工夫」「商店街の客足や観光客の減少について」等のふるさと別府を愛する気持ちがたくさん込められていたように思います。

また、子どもたちの発言や態度から、学校における諸活動から生まれた切実な願いに対して、自分たちでできることをしっかりと努力していこうという強い意志が伝わってきて、将来の別府市を担う子どもたちとして大変頼もしく感じました。ご指導いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。

教育委員会といたしましても、子どもたちの純粋で真摯な願いが生かされるよう、今後も努力してまいります。



別府市子ども会  
育成会連合会 会長

池辺 栄浩

平成15年にスタートしたべっぷ子ども市議会は、今年で7回目を迎え、大きな成果で終えることができました。次世代を担う23名の別府市内各小中学校の代表の子ども議員さんの質問、提言はすべて立派で感動しました。年々、進化していると実感しました。子ども議員さんは、誰もが体験できるものではなく、今回の貴重な経験は、一生の思い出と自信になると確信しています。また、『子ども宣言』が別府市のまちづくりに活かされ具現化されることでしょう。

最後に、開催にあたり関係者各位のご尽力に心より感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。



別府市PTA連合会  
会長

後藤 智

子ども市議会開催にあたり、ご尽力してくださった方々に感謝申し上げます。

各小中学校の代表者が議員になり市議会を経験する。しかも傍聴席ではなく、ひとりの学校の代表として、議員として。このような機会はめったになく、自分達が育っている別府に興味を持ち、そのことが別府を大切にすることにつながっていくと思います。また、子どもたちが質問、提言したことが実現されていることを聞き、とても感謝をいたしております。

子どもたちの目、心はとても素直に現実を見つめています。その中に未来につながる何かが隠れているのかもしれませんが。私達PTAは子どもたちのため一生懸命にがんばっていきますので、皆さまにおかれましてもこのような場を絶やさず、小さな声に耳を傾け聞き逃さぬよう、別府の未来を築く子どもたちのためよろしくをお願いいたします。